

第六項 鐵ノ單結晶ノ磁氣的研究ハ最近數年間ニ行ハレ其結果ハ理論上頗ル有益ニシテ強磁性體論ニ對シテ重要ナル資料ヲ供給セリ。本研究ハ初メテ液體空氣ノ低溫度ヨリ臨界點ノ高溫度ニ至ル各溫度ニ於テ、鐵單結晶ノ主軸即チ [100] [110] [111] ノ方向ニ於ケル磁氣ノ強サヲ測定セルモノニシテ、各溫度ニ於ケル磁化曲線ノ特徴ハ一般ニ二ツノ折點ヲ有スルコト比較的弱キ磁場ニ於テ飽和磁氣ニ達スルコト及ビ飽和磁氣ニ達スル磁場ハ溫度ノ上昇スルニ從ヒ急ニ減少スルコト等ナリ。又一定ノ磁場ニ於ケル磁氣ノ強サ對溫度ノ曲線へ多結晶ノ場合ト毫モ異ル所ナシ。

以上本研究ニ記スル所ハ有益ナル數多ノ結果ヲ含ムモ、殊ニコバルトノ變態點ノ發見ハ多方面ニ重要ナル關係ヲ及ボシ且熱磁氣ニ關スル種々ノ不可解ノ現象ヲ説明セリ。又超インバールノ發明ハ學術上ニモ亦工業上ニモ重要ナル事項ト云フヲ得ベシ。

### 醫學博士三宅速君著日本ニ於ケル膽石症ニ對スル

#### 授賞審査要旨

三宅君ハ外科専門家トシテ特ニ膽石症ノ研究ニ興味ヲ有シ、九州帝國大學ニ在職中手術裡ニ實驗シタル膽石症七百五十五例ニ就テ各方面ヨリ精細ナル研究ヲ行ヒ其結果ヲ總括シテ觀察シタルニ、日本ニ於ケル膽石症ニ就テハ從來西洋諸家ノ所說ニ符合セザル點尠カラズ、自ラ特性アルコトヲ認め、茲

ニ人種のニ立脚シテ「日本ニ於ケル膽石症」ナル題目ノ下ニ之ヲ公表シタル論文ナリ。

本著ハ次ノ十五項ヨリ成ル。(一)頻度。罹病率ハ獨逸七、五%、米國五、九六%、日本三、五%、英國

二、二五%、露國一、八九%、則チ日本ノ率ハ獨米ヨリ低ク英露ヨリ高シ、蓋シ膽石ノ生成ハ食餌ト密

接ノ關係アリ、風俗習慣ハ有力ナル誘因トナラン。(二)男女ノ比率。歐米ニ於テハ女子ノ罹病率男子

ニ比シ約三—九倍高キモ本邦ニ於テハ男女ノ間ニ殆ンド差異ヲ見ズ。著者ハ理由ヲ主トシテコルセツ

ト着用ノ有無ニ歸セリ。(三)妊娠及服裝ト膽石症。西洋諸家ノ說ニ依レバ女子ノ膽石症ハソノ九%ガ

妊娠ヲ經過シタル女子ニ發生スルモノナリト唱フルモ、著者ノ臨床例ニ依レバ不妊娠者ト妊娠者トノ

割合ハ一ト三ノ割合ニ當リ、死體數ノ統計ニテハ尙ホ低率ヲ示ス。故ニ本邦ニ於テハ妊娠ハ膽石症誘

因ノ一部ヲナスベケレドモ諸氏ノ唱フルガ如キ重大ナル原因ヲナスモノニ非ズ。服裝トノ關係ハ前項

ニ述ベタルガ如ク相當重大ナルモノアリトス。(四)日本人膽石症ト年齢。年齢ハ邦人モ泰西人モ特ニ

異ル處ヲ見ズ。(五)日本人ニ於ケル膽石症ノ種類。從來膽石ハ「コレステリン」石ヲ普通トシ「ビリ

ルビン」主體ノ結石ヲ稀ナリト唱ヘラレシガ著者ノ臨床例三五四中、二七七例即チ八一%強ハ「ビリ

ルビン」ヲ主體トセル結石ナリ。之レ誠ニ注目スベキ事實ナリ。(六)他ノ有色人種ニ於ケル二三知見

近時文獻ヲ涉獵シテ前項ノ事實ガ日本人ニ止マラズ、他ノ有色人種(佛領印度、アメリカカンネグロ等)

ニ共通ノ現象ナルコトヲ認知シタルヲ以テ、著者ハ之ガ原因トシテ食餌ノ差異ニヨル膽汁中「コレス

「タリン」含量ノ著シキ相違ト有色人種ノ色素生成機轉ノ差異ニ在ルモノト主張ス。  
 (七)寄生蟲ヨリ見タル日本膽石症。泰西ニ於テ稀ナリト稱セラル、寄生蟲石ガ本邦ニ於テ頗多ナルコトハ注目スベキ事

實ナリ。臨床例ニ依レバ一二、二%ヲ示ス。蟲ハ蛔蟲ヲ其重ナルモノトス。所在ハ多數總輸膽管内ニシ

テ膽囊及肝臓内ハ稀ナリ。肝窠形二口蟲ガ膽石ト合併スルコトハ手術例ニ依レバ稀ナリ。此蟲ガ膽道

ニ寄生シテ結石ヲ構成シ爲メニ外科的手術ヲ必要トスルニ至リシ例ハ東西ヲ通ジ著者ノ實驗ヲ以テ嚙

矢トス。(八)日本人膽石症ニ現ハレタル細菌特ニ腸チブス菌トノ關係。膽石症ノ膽汁細菌感染率ハ七

八、五%ナリ。而シテ細菌ノ種類ハ大腸菌ヲ首トス。腸チブスノ既往症アルモノニシテ膽囊内ニ同菌

ヲ證明シ得タル例三十七名ノ内僅カニ二名アルノミ。(九)原發性十二指腸移動症ニ對スル軌近ノ傾向

此症ハ著者ガ發見シ命名シタルモノニシテ一九二二年之ヲ内外ニ發表シタル以來此新症例提唱ガ内外

ノ諸家ニヨリテ研究ノ標的トナリ況ク是認セラル、ニ至レリ。著者ノ實驗シタル十例ノ内六名ハ女子

四名男子ニシテ膽石症ニ比シ割合ニ低率者ニ多シ。此症ハ膽石ノ發生及診斷上重要ノ位置ヲ占ムルモ

ノナリ。尙徵候及療法ヲ附記セリ。(十)絳樣膽囊ノ論點ト著者ノ見解。十四ノ實驗例ヲ精査シタル結

果此現象ニ特殊ナル帶黃色班點ノ成立ハ大腸菌ニ依テ誘發セラレタル炎症ノ爲ニ類脂肪體含有高度ト

ナリタル膽汁ガ偶々膽囊ノ上皮糜爛シ缺損ヲ生ジタル部ニ推積セルモノト斷定セリ。膽石症百三十

例中則チ一七、六%ヲ實驗セリ。内三例ハ結石ヲ兼ネタリ。尙ホ此症ノ徵候ヲ附記ス。(十一)日本人膽

石症百三十

石症ト黃疸。黃疸出現率ハ歐米諸家ノ統計ニ比スレバ二倍或ハ其以上高シ。蓋シ本邦ニ於テハ手術場

裡ニ來ル膽石症患者中合併症ヲ有スルモノ多キガ爲ナラン。黃疸時出血ニ就テハ血液ノ凝固時間ヨリ

モ寧ロ凝塊ノ性狀ガ重キ關係アルコトヲ動物試驗ニ依テ認定セリ。(三)日本人膽石症脾臟炎ノ頻度

五四三例ノ内九四例ノ合併症ヲ認メタリ。(三)日本人膽石症ニ現ハレタル胃酸ノ變化。膽石症ノ場合

大多數ニ於テ胃液鹽酸缺乏又ハ減少ノ來ルハ事實ナルモ膽囊剔出又ハ膽囊管ノ萎縮閉塞ニヨリ胃酸缺

乏又ハ減少ヲ起ストノ說ハ正當ナラズ。著者ハ動物試驗及臨床例ニ依リ膽囊剔出ノ胃酸ニ影響ナク寧

ロ増加シ或ハ出現スルモノスラ有ルコトヲ明ニセリ。(四)邦人ノ膽囊及膽道癌腫發生率。邦人ニ於テ

ハ結石ニ基ク膽道癌腫ノ發生ハ極メテ少數ナリ(二、〇%)。(五)著者ノ得タル膽石症ノ手術成績。膽

石症ニ於テハ膽囊抽出術ヲ根治療法ノ眼目タルコトヲ主張ス。而シテ手術成績ノ良否ハ合併症ノ有

無、發病ヨリ手術ヲ行フマデノ期間ノ長短、患者ノ年齢、結石ノ位置等ノ差ニ依リ同一ナラザルモ、

總括的死亡率ハ六、九%ニシテ永久治療ノ成績ハ八三、七三%ナリ。手術ハ合併症ノ加ハラザルニ先キ

ダチテ可成早期ニ行フヲ良シトス。

要スルニ三宅君ハ稀ニ見ル豊富ナル自家實驗例ニ就キテ精細ナル研究ヲ遂ゲタル結果本邦ニ於ケル

膽石症ニ就テハ西洋諸家ノ唱導スル所ト其趣ヲ異ニスル處尠少ナラズシテ特性ヲ有スルモノナルコト

ヲ認定シ、又曩ニ膽石症ト重要ナル關係アル原發性十二指腸移動症ナルモノヲ發見シテ之ヲ公表シ、

今ヤ内外ノ學界ヨリ承認ヲ得ツ、アリ。本著ハ膽石病ノ研究上重要ナル業績ニシテ著者ノ功績顯著ナルモノト認ム。